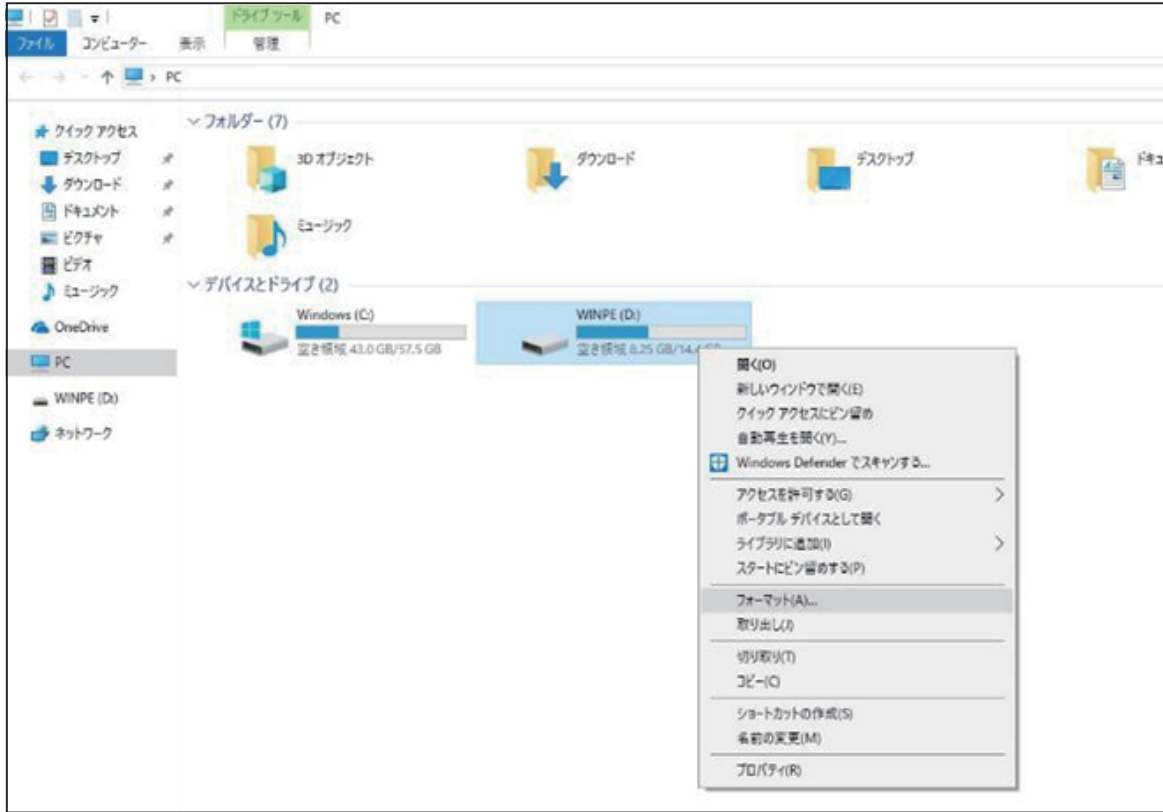


リカバリーを実施する前に、インストールされているWindowsのエディションを確認してください。もしWindows homeからWindows proへの変更やWindows proからWindows homeへ変更を行う場合は、弊社ではライセンスキーの提供はいたしかねます。

Windows11 proのインストール方法（一旦USBメモリーにダウンロードしてそこからインストールする方法です）8GB以上のUSBメモリーをご用意ください。（USBメモリーにデータが残っている場合、フォーマットの際にUSBメモリー内のデータが消えてしまいますので、データを他のパソコンやメディアに保存してから作業をしてください。）USBメモリーを他のPCに挿し込み下記の手順でフォーマットします。

リカバリーの方法



ファイルシステムは「NTFS」 ボリューム ラベルは「WINPE」、

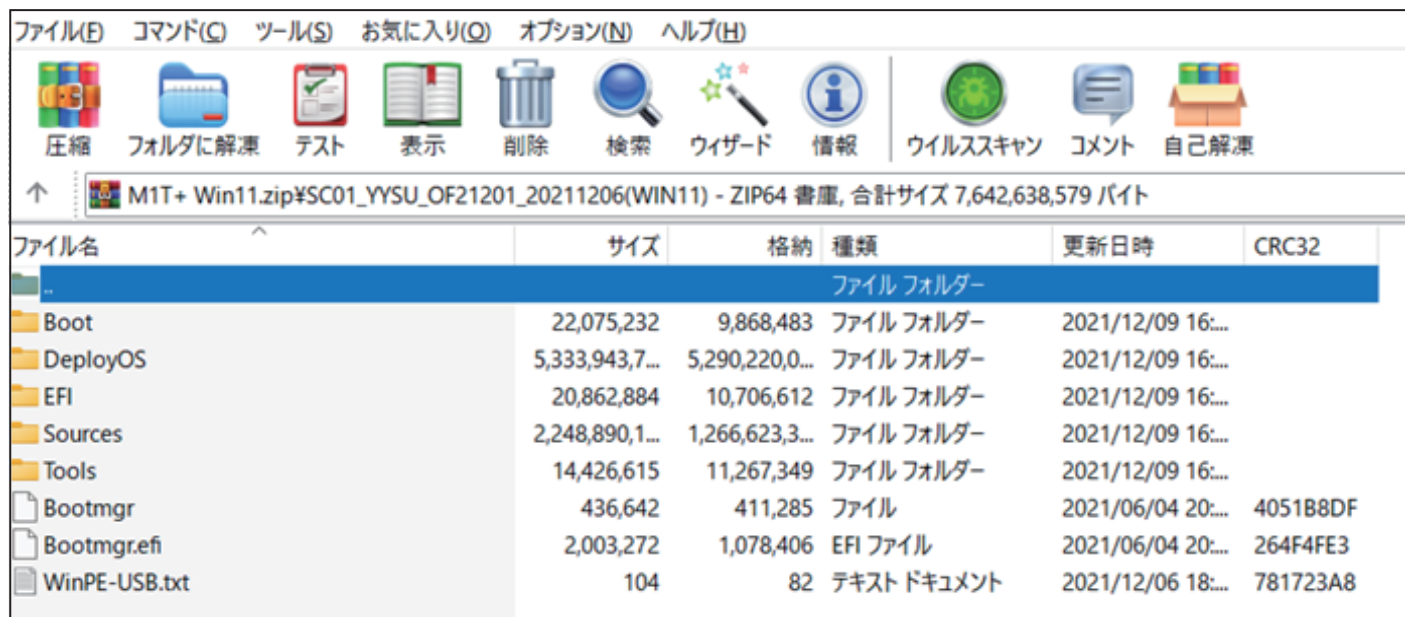


“開始”ボタンをクリックします。

下記のアドレスにアクセスして Windows11Pro をダウンロードしてください。

<https://www.asuswebstorage.com/navigate/a/#/s/4B3F92C4083B46C297A072C40C63DF8BY>

M1T+Win11pro を解凍後、すべてのファイルコピーし、USB メモリーの中に貼りつけます。



※以上のファイルは必ず USB メモリーのルートディレクトリに貼り付けてください。

こちらのやり方で、TPM2.0の設定必要がありません。

コピー終了後、USBメモリーをパソコンに挿入してください、スティック型パソコンを起動してすぐに <F7> キーを連打しながら BIOS の画面を開きます。

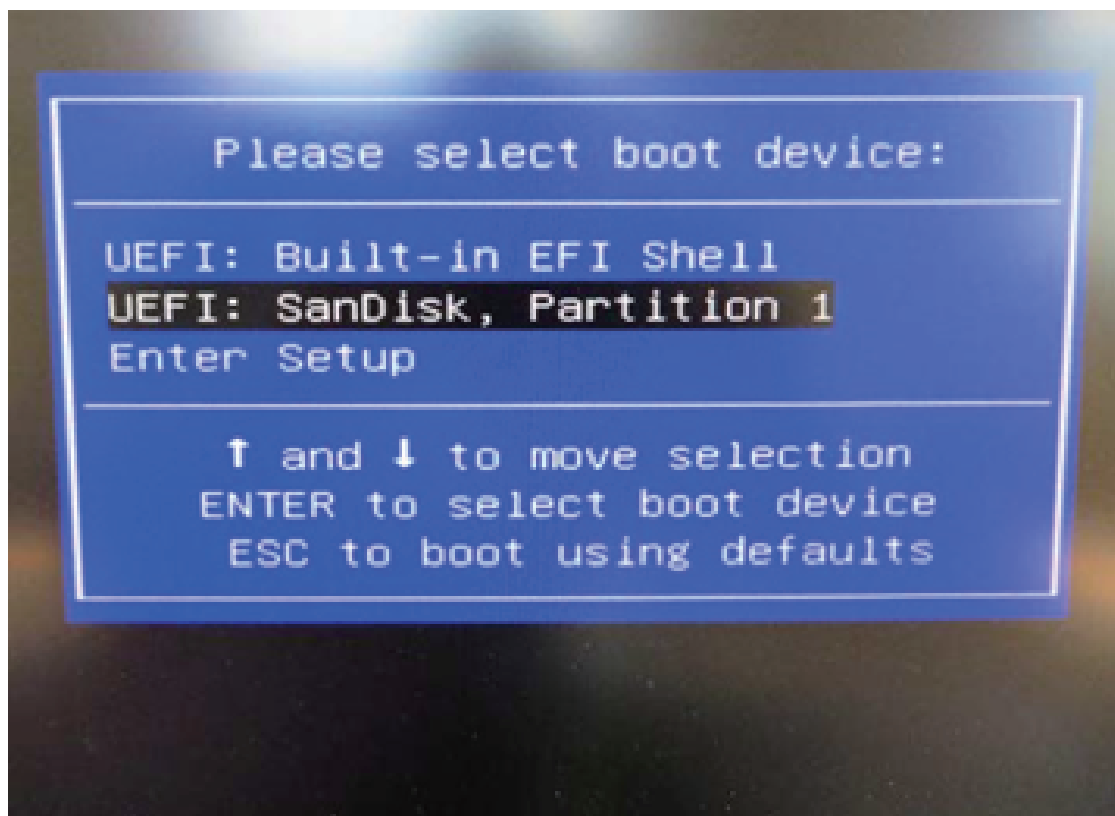
Bluetoothでキーボードを接続している場合、<F7> キーを押しても BIOS の画面になりません。

有線のキーボードで作業を行ってください。

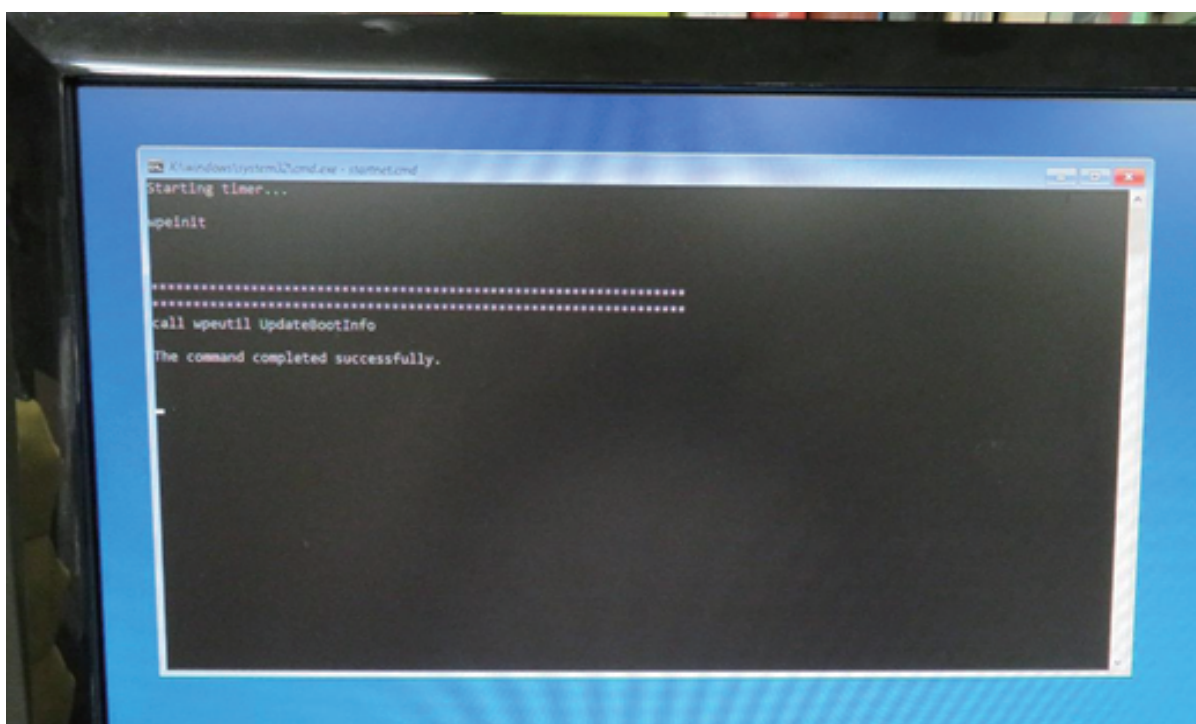


起動ストレージの選択画面が表示されます。

Windows10 のインストールディスクを入れた UEFI (USB メモリーの名前) を選択します。

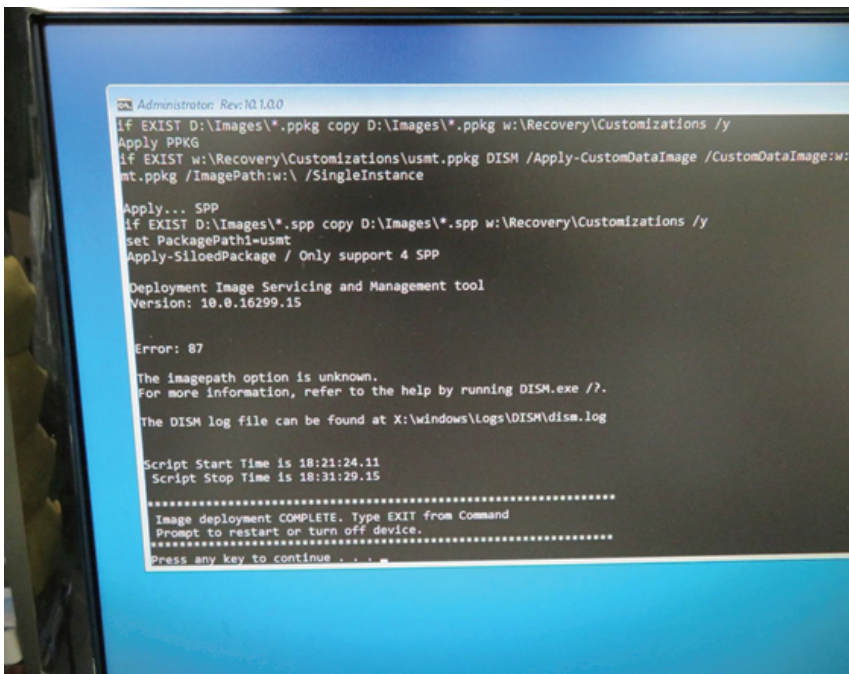


スティック型パソコンが自動再起動し、システムは、下のウインドウを自動的に表示します。

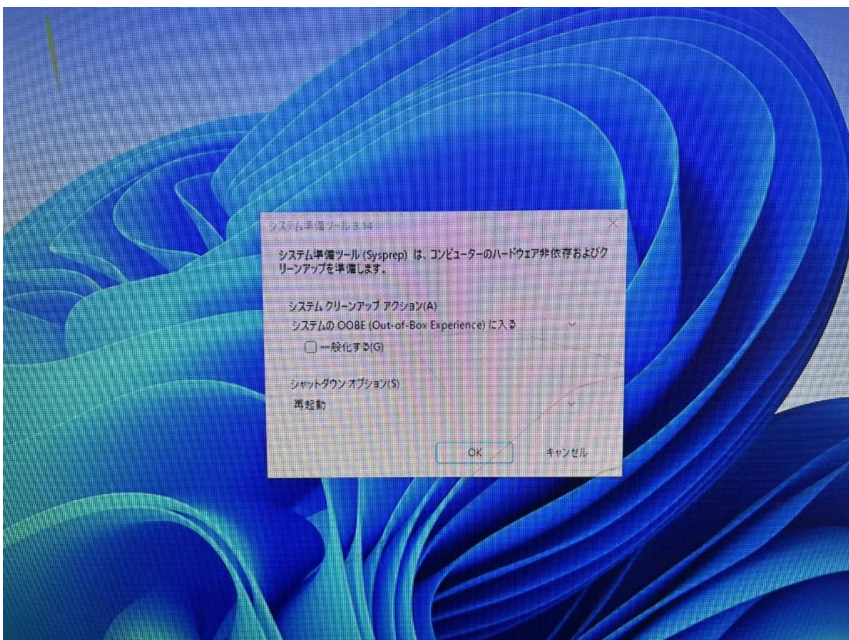


ここからは何も操作はしないでください。プロセス全体は約10分ほどかかります。システムは自動的にインストールを完了します。

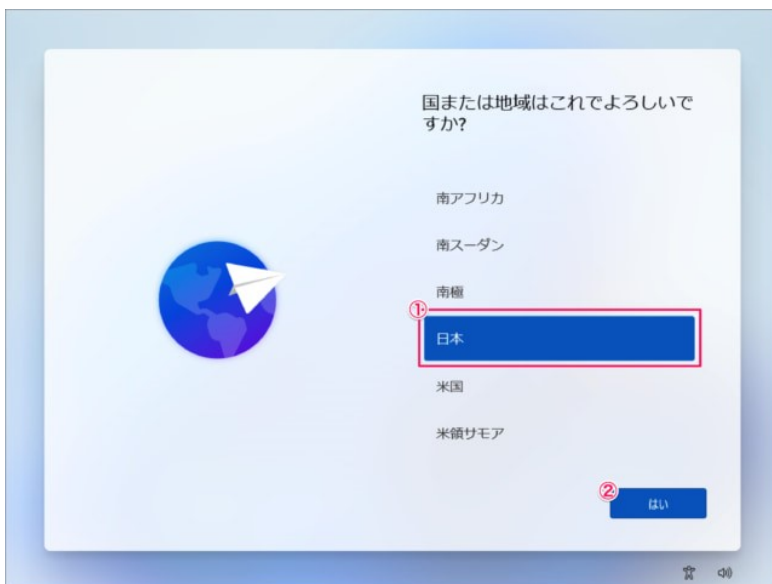
インストール完了後のウインドウは下の通りです。任意のキーを押してください。システムは自動的に電源オフになります。



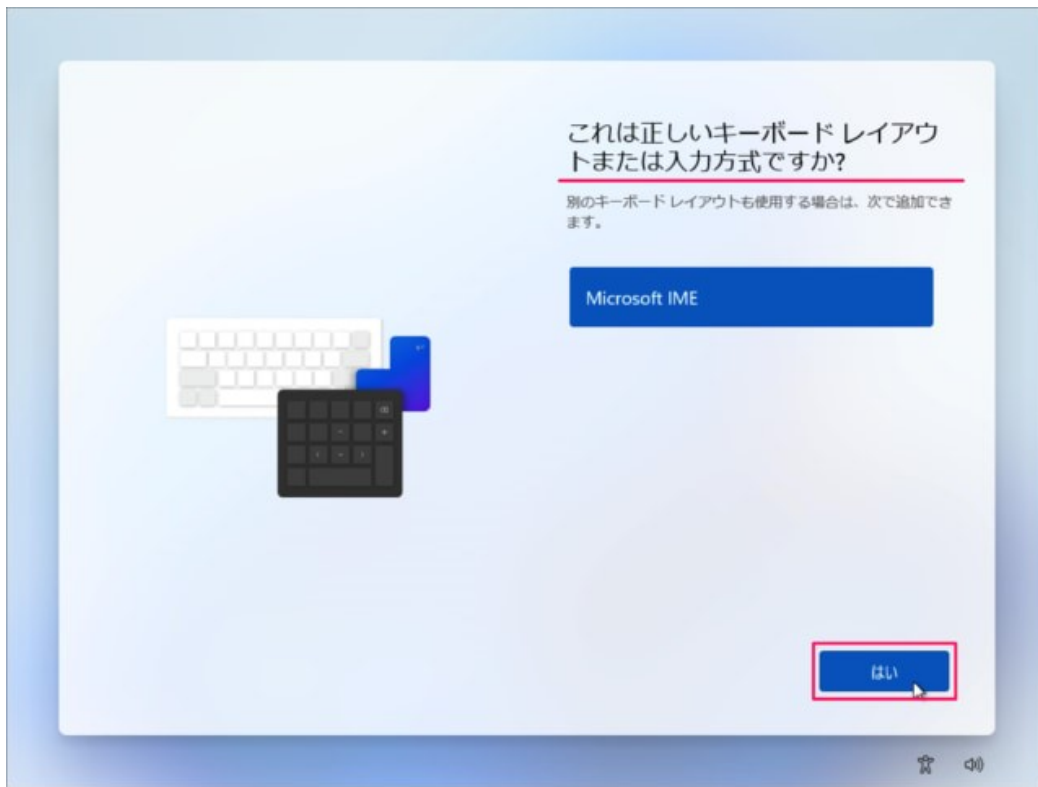
パソコン再起動して、システムに入って、以下の画面になります。
そして、『OK』ボタンを押してください。パソコン再起動します。



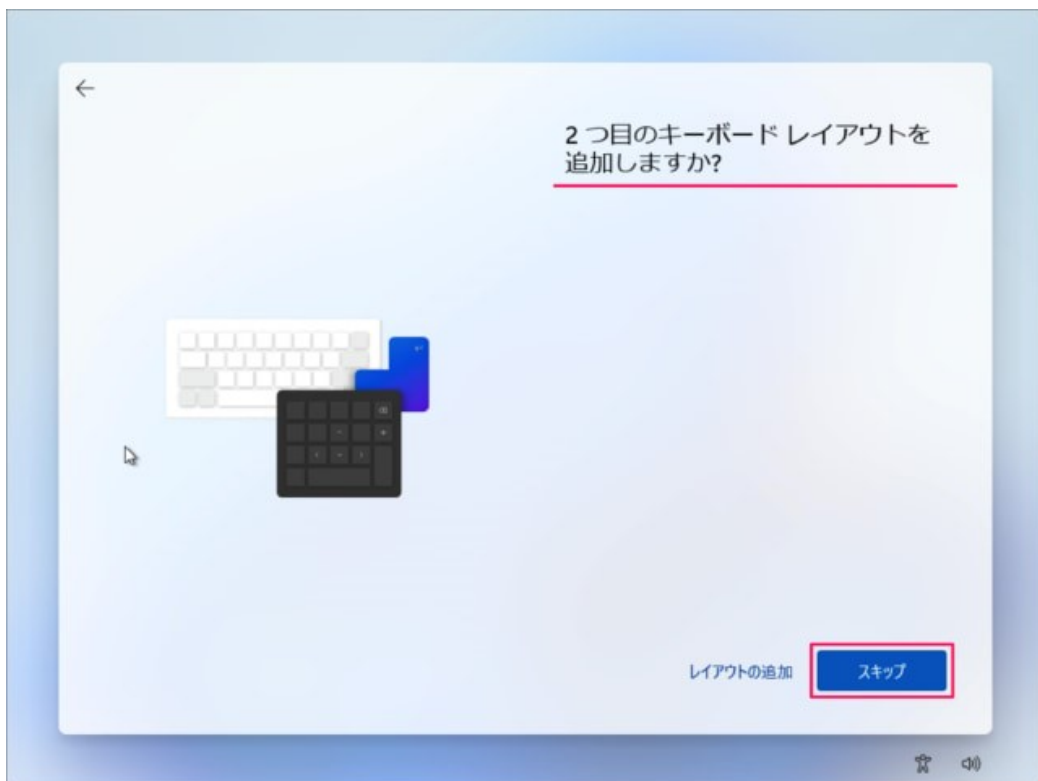
再起動後、Windowsのサービスがはじまります。



地域の選択です。①「日本」が選択されていることを確認し②「はい」をクリックします。

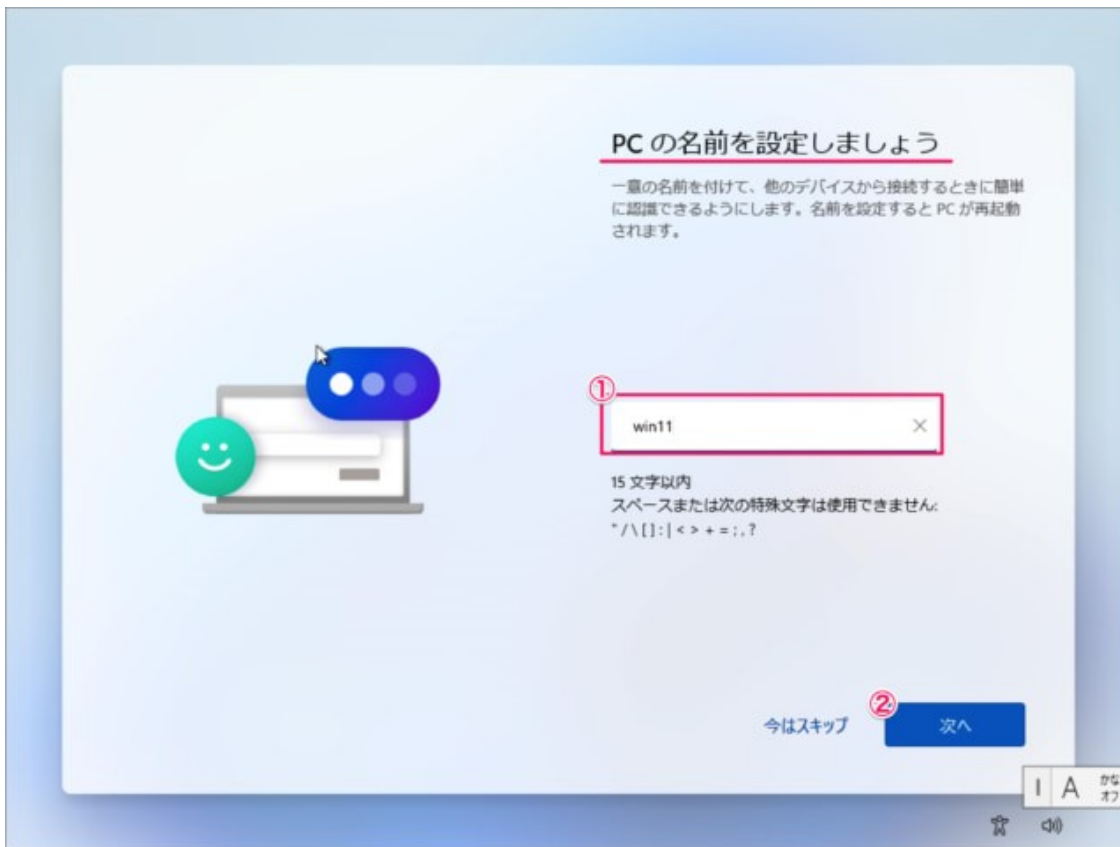


キーボード・レイアウトの設定です。「はい」をクリックします。



「スキップ」をクリックします。

※ 2つ目のキーボード・レイアウトが必要な場合は「レイアウトの追加」をしましょう。

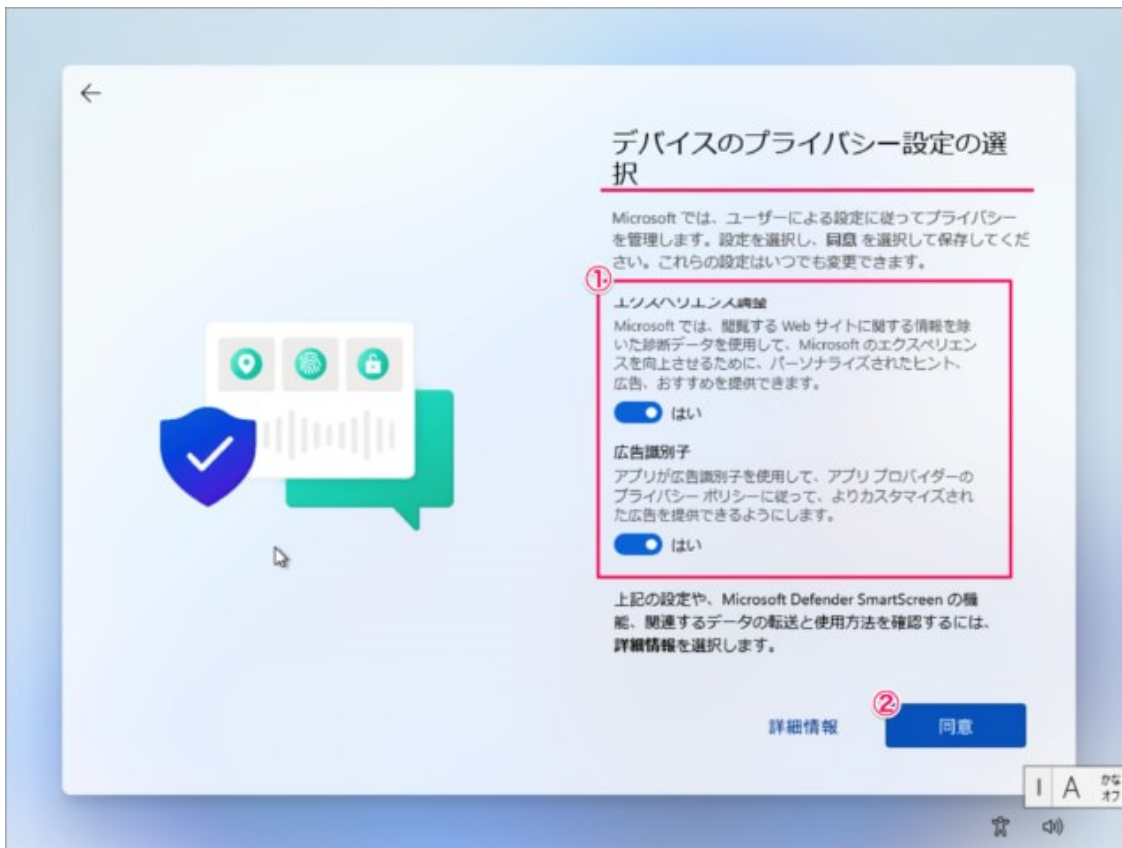


PCの名前を入力し
「次へ」をクリックします。



ネットワークの設定

Windows 11 Pro で、ネットワーク接続していなくても [次へ] ボタンの左横にある [インターネットに接続していません] をクリックすれば、オフラインでセットアップが実施できます。

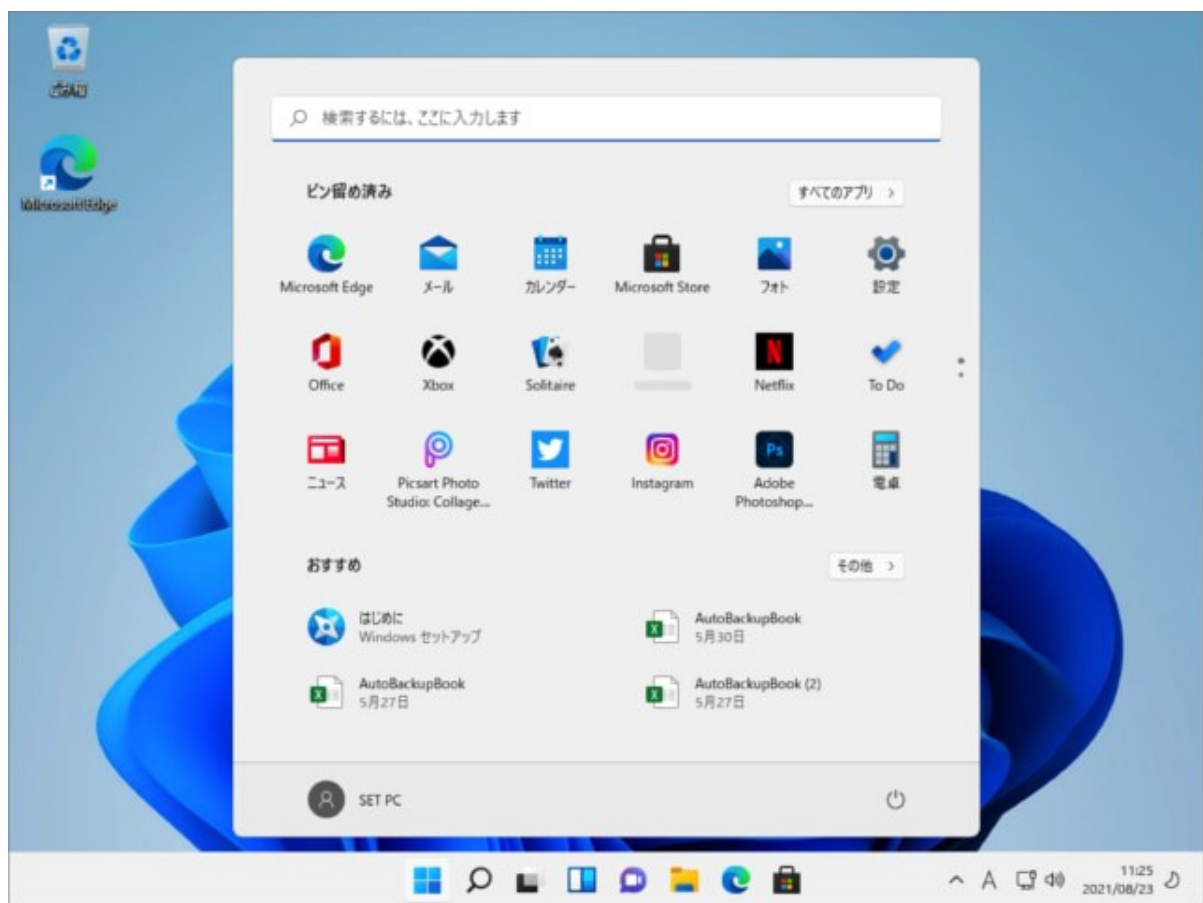


デバイスのプライバシー設定の選択です。

- ① 「はい」「いいえ」を選択し
- ② 「同意」をクリックします。



しばらくするとPCが再起動されます。



このようにデスクトップが表示されます。
これでWindows 11のクリーンインストールは完了です。

※ちなみにProエディションの初期設定ではMicrosoftアカウントの作成は任意で、オフラインアカウントでの設定も可能でした。

メーカー出荷前ライセンス認証済み、システムを再インストール後、インターネットに接続されていると自動的にライセンス認証が行われます。一度、ライセンス認証すれば、同じパソコンなら何度インストールしても構いません。